

育毛剤の有効成分

1. 塩酸ジフェンヒドラミンは主に抗ヒスタミン剤として知られています。アレルギー反応を抑えるために使用されることが多いです。一部の情報源では、血行促進効果があるとされることもありますが、これはあまり一般的ではなく、信頼性に欠けるため注意が必要です。育毛剤に配合される場合、主に頭皮のかゆみや炎症を抑えるために使われます。
2. アロエベラは強力な抗炎症作用があります。アロエベラに含まれる成分(ポリフェノール・アロエベラステロール・アロイン・酵素)が炎症を抑える働きをします。
3. ミノキシジルは、血行促進作用として使用されます。
4. フィナステリドは男性型脱毛症の原因である DHT(ジヒドロテストステロン)の生成を抑制します。
5. 血行促進効果を期待する場合は、抗炎症剤として知られているグリチルリチン酸ジカリウムを含む製品を選ぶ方が良いでしょう。グリチルリチン酸ジカリウムは血行を改善し、炎症を抑える効果があります。
6. また、センブリとニンジンエキスは血行促進剤として使われることがあります。センブリは抗凝固作用があり、血液をより流動性のある状態に保つのに役立ちます。
7. 一方、ニンジンエキスはビタミン C が豊富で、血管を広げて血行を促進する効果があります。
8. カフェインは血行促進剤として使われることがあります。頭皮の血流を良くして、毛根に酸素と栄養を十分に供給するのに役立ちます。